

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・GM	写真・GT
山行番	NO. 1856		
日時	2020/2/23 (日) 晴・上部強風		
山域	富士山・御殿庭 (2170m)		
コース	駐車場7:40-幕岩8:50-宝永山南沢(仮称)-御殿庭11:00-御殿庭下(昼食)11:20~12:00-幕岩13:00-駐車場13:47		
標高差	上り	駐車場約1340m~御殿庭約2170m=約830m	
	下り	同上	
快適度	5 (5段階評価) =アイゼンを履けば快適だった。		
参加者	GT、KH、HY、MM、GM、=5名		

今回の山行は22日に茅ヶ岳の予定であったが、雨で中止となり、翌日の23日は富士山となった。2月23日は富士山の日ということで、富士山に変更になった。

GT車は6時半に長泉を出発、6時50分に裾野でGM車と合流。御殿場のSさん宅まで行き、その駐車場にGM車を置いて、GT車で7時半過ぎに須山御胎内登山口東の周遊道橋の駐車場に到着。

帰りにGTさんはSさん宅で、飲み会があるので、私の車で帰りはHY&MMさんを長泉まで送っていく計画。(後で判ったが、2月22日はGTさんの誕生日であった)

7時40分に周遊道の橋から出発。一般道ではないが、ここから宝永山方面への登山はよく使うルートであり、昨年10月もここから第一火口まで登った。



周遊道の橋からの宝永山南沢(仮称)

登り口からすぐに溶岩の沢に入る。幕岩からバリエの宝永山南沢(仮称)に向かう。しばらく登ると滑り易いアイスバーンの氷道が現れ始めた。ツルツル、スベスベしながら30分程登ったが、GTさんの指示でアイゼンを装着。アイゼンを付けるとザクザクという音がして、力強く歩けるようになったが、私はアイゼンに慣れておらず、長くアイゼンで歩くと足がかなり疲れそうである。

しばらく登って、御殿庭入口に続く尾根に取りつく。この辺りは、雪が多くいい感じ。青空・雪・岳樺・富士山が眩しい。



宝永山南沢（仮称）

御殿庭下からさらに急登を登り、本日の最高標高点の御殿庭上（2170m）に到着。ここで、KHさんからのサプライズ。そうか昨日（2月22日）がGTさんの誕生日だったのか、私は全く忘れていた。KHさんからの誕生日祝い垂れ幕とプレゼント（富士山を模したお菓子）を持って、記念撮影。

GTさんはプレゼント（富士山を模したお菓子）が女性のオッパイにしか見えないようであった。GTさんもこんな所で、お祝いをしてもらえるなんて幸せ者である。それにしてもKHさんの気遣いにはただただ頭が下がる思いである。



GTさんの誕生日祝い



御殿庭

記念撮影した場所は風が強いため、そこから10分ほど下った風の当たらない場所で昼食。風が当たらないとはいえ、標高2000mの雪の上ではかなり寒く、ビールが冷たい。ここでもKHさんの気遣いか、焼きチーズと焼き餅の海苔巻きを頂いたが、温かくてすごく美味しかった。

昼食後、幕岩まで一気に下ったが、雪の上を下るのはずいぶん楽であった。それにしても、昨年10月にもほぼ同じコースを登り下りしているのだが、秋と冬では全く景色も違だし、全く別の山に行ったように感じた。裾野に40年近く住んでいて、富士山の四季の変化を眺めて



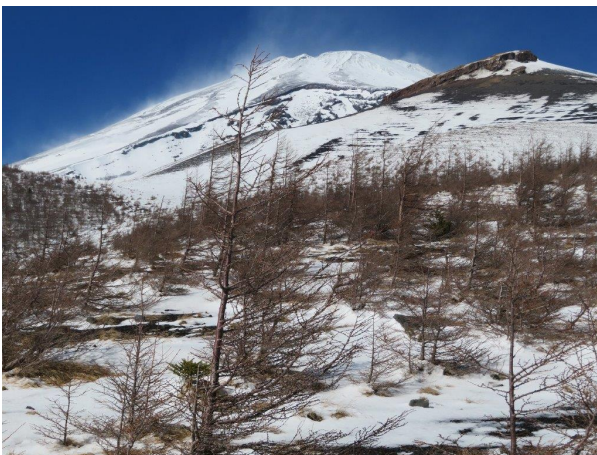


御殿庭下で昼食

いたが、今回、冬に登ってみて富士山の四季の変化を体感できて、非常に面白かった。ぜひ、春にも同じコースを登山して、四季の変化を体感したいものである。



明るい林間でポーズを決める



快適な下り



宝永山南沢（仮称）

その他の記述（G T）

1. 御殿庭下で早くも上から誰か下って来た。中年男性一名だった。聞けば、横浜から今日、来たという。「早いですね〜」に、水ヶ塚を6時ころ出たという。では、横浜は一体何時だったのだろうか??
2. 昼食後、少し下ると、下から一人上って来た。聞けば、御殿庭まで行くようだ。金色色の新しいアイゼンを履いていた。「アイゼンは、今回で3回目」といった。初心者を感じだった。
3. 結局、この日会ったのは、単独2名だった。「富士山の日」しては、やや少なかった??!!
そもそも冬期設定は、無理がある??!!
4. この日の富士山上部は、北海道東にL（低気圧）が発達しモーレツな風。生き物のような、雪煙がプンプン上がっていた。
5. 冬富士は何回か上っているが、幕岩から上部がずっと氷面は珍しい。暖冬の影響である。

